

# 障害者福祉サービス事業所PR! プレゼンテーションの場を提供します ～生活介護編～

満開の薔薇の香りに誘われる5月18日(木)に第227回障害者地域生活支援研究会が開催されました。今回のテーマは「障害者福祉サービス事業所PR!プレゼンテーションの場を提供します～生活介護編～」でした。

最初に 北九州市障害者基幹支援センター 西坂 七恵 副センター長より 北九州市福祉ガイドを参考に、生活介護事業について説明致しました。

北九州市のホームページに掲載されている障害福祉サービス等指定事業所一覧によると、平成29年4月1日現在、北九州市内に生活介護事業所は73事業所。その内6事業所からPRしたい!というご希望を頂きました。

発表順に“障がい福祉サービス事業所 あおいとり” 二子石 拓也さん、和田 一哉さん。“多機能型事業所 若松工芸舎” 武田 春奈さん。“多機能型事業所ビューティフルネーム” 北野 栄一さん。“障がい者支援サービスいろは” 白石 博之さん、為藤 慎治さん。“障害者支援施設 ひびき荘” 有木 徳治さん、伊藤 眞由美さん。“総合療育センター ナイスディ” 坂田 三ハ一さんから各事業所の特色を説明して頂きました。

特別支援学校を卒業後に利用開始される若い利用者が多かったり、長年利用されている方が多く高齢化が直近の課題であったり、濃厚な医療ケアが必要な利用者が多かったり、発達障害のある人が中心であったりと各事業所の成り立ちも目的も違う中で、各事業所の特色が見えてきました。

事業所PRの支援研究会は「放課後等デイサービス」「就労支援事業所」に続く第三弾になりますが、今回はBGM付きのDVDで普段の様子を映してご紹介頂いたり、たくさんの写真やデータでご紹介頂いたり、今まで以上に事業所のカラーが出ていたように感じました。



生活介護	内容	障害者支援施設などで、常に介護を必要とする方に対して、主に屋間において、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談・助言その他の必要な日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。 このサービスでは、自立の促進、生活の改善、身体機能の維持向上を目的として通所により様々なサービスを提供し、障害のある方の社会参加と福祉の増進を支援します。
	サービス	障害者支援施設などで、主に屋間において、次のようなサービスを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴、排せつ、食事等の介助</li> <li>調理、洗濯、掃除等の家事</li> <li>生活等に関する相談、助言</li> <li>その他日常生活上の支援</li> <li>創作的活動、生産活動の機会の提供</li> <li>身体機能や生活能力の向上のために必要な援助</li> </ul>

WAMNET HPより抜粋

具体的には就労を継続・目指す事業所とは生活介護事業所は大きく目的が違うことから、障害や年齢に応じた作業内容や創作活動、医療健康面に配慮した活動等の他、地域交流スペースを設け地域との交流会等を行い、地域に溶け込む工夫をされている事業所のお話し等を伺うことが出来ました。障害のある方の普段の生活を知る機会になり、生活介護事業が障害のある方の普段の生活に直結していると感じました。

事業所のイメージが具体的に感じられたのか、会場からは具体的な質問をたくさん頂き、関心の高さが伺える支援研となりました。

当研究会ではインターネットの情報だけではわからない、リーフレットだけではわからない情報を細やかに今後も発信していければと思います。

尚、本日の参加者は59名。内新規の方は25名でした。ありがとうございました。



※こちらの議事録は  
北九州市障害者自立支援協議会の  
ホームページでもご覧いただけます。  
<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

